

宝木だより

第9号

発行 宝木地域づくり推進協議会

宝木地域コミュニティセンター内

(事務局)

〒320-0065 宇都宮市駒生町3364-29

(宝木小学校内)

TEL・FAX 028 - 624 - 0531

(印刷) DTP de-co

(題字 北條信男 書)

高齢者と児童との

ふれあい交流会食

十月二十六日(火)宝木地区内の一人暮らし高齢者と宝木小学校二年生が「ふれあい交流会食」を行いました。

一人暮らしの高齢者のふれあい会食は、毎月第四火曜日にコミセンで開催しておりますが、そのうち小学校二年生との交流会食はクラスごとに行いますので、本年度は四クラスなので四回実施することになります。

「ふれあい交流会食」は、まず児童代表が高齢者をお迎えにきて、ランチルームへ案内して始まりです。そして地域のこと、昔のこと、学校生活のことなど話し合いながら食事をし、食事後は児童たちが歌を披露したり一緒にゲームをするなど、高齢者と児童が活発に交流しました。

日頃、高齢者に接することが少ない児童と、子どもたちと話すことが少ない高齢者が、うちとけてなごやかに過ごしたひとときでした。



開催日	5/23	5/23	6/20	6/20	7/4	7/4	9/9	9/9
種目	婦人簡易 バレーボール	一般野球	ソフトテニス	卓球	ソフトボール 男子	ソフトボール 女子	バレーボール 男子	バレーボール 女子
優勝	2-2	2-2	西中丸	西中丸	宝木団地	2-2	2-2	宝木団地
準優勝	西中丸	宝木団地	2-2	2-2	西中丸	1-2	1-2	西中丸
第三位	1-2	1-2 1-3	2-1	1-2	2-2	宝木団地	宝木団地	2-2

平成22年度宝木地区
球技大会成績

自治会めぐり ⑦

西中丸自治会

西中丸は徳川時代中丸村といわれていました。良駒を産するということから駒生村と地名が変わり、明治二十二年城山村が生まれ城山村大字駒生字中丸となり、昭和二十九年に宇都宮市駒生町となって西中丸自治会が発足したので

す。現在大谷街道の北と南に、組数十、班数一〇〇、会員数一〇四七と大変大きな自治会となりました。

ここで西中丸自治会主催による行事を紹介します。

六月に「ソフトバレーボール大会」を行い、多くの方々が参加され楽しい大会になりました。

十一月三日に実施している「ふれあいウォーキング」及びもちつき大会は、盛大に行われました。子どもたちは育成会によるゲーム大会を西中丸公園で行い、終了後近くの高尾山神社のお祭りに参加し、

甘酒をいただき西中丸公民館までウォーキング。公民館では子どもたちによる餅つきを行い、つくたてのもちをお土産に、昼食は地元産のこしひかりのおにぎりとけんちんうどん等が用意され、楽しい時間を過ごすことができました。また子どもたちには綿菓子も配られました。参加者は約三六〇人でした。

そのほか宇都宮市の施設めぐりを毎年実施し、市内の施設を見学して市政への理解と関心を高めております。昨年は県庁等を見学しました。次に老人会は、毎月十五日

に西中丸公民館でお茶の会を行っております。多くの方々の参加をお待ちしております。また、民生委員は、一人暮らしの高齢者を随時訪問し、健康や生活などの相談にのっております。

去る九月八日(水)山形市の各公民館長三十名が宝木コミセンの施設利用状況や各種講座の実施状況など運営体制について視察研修のため宝木コミセンへ来訪、約二時間にわたり意見交換を行いました。山形市はコミセンではなく、従来本市でやっていたように地区公民館として地域に委託して運営しているが、今後コミセンへ移行してはどうかと検討している段階であるとのこと。

西中丸自治会役員

会長 阿部 進
副会長 阿部 清

池田 孝明
新井 里子

荒井 幹夫
枝 茂男

大沢 章利
上野 善代

老人会会長 吉沢 紀子
育成会会長 阿部 進

民生委員 新井 武夫
小杉美津江

天谷 恵子
吉田 京子

天谷 玉枝
天谷 玉枝



施設めぐり記念写真



子どもたちもちつきに参加

今回のように本市のコミセンへ多くの方が視察に来られるのは異例のこと、素晴らしい施設や活発なコミュニケーション活動などを多に宣伝したところでありませう。

山形市公民館長会が視察来訪

敬老会開催

空高き秋の気配ですが、残暑厳しい九月十九日(日)宝木地区敬老会がコンセーレで盛大に行われました。午後二時の開始時刻には招待された敬老者が会場フロアに集い、談笑のうちに式典を迎えました。主催者挨拶に続き、市議長、宝木地区児童代表からお祝いのご挨拶をいただき、演芸に移りました。演芸は地区内の芸達者な方々の多種多芸を、お楽しみいただきました。



会場いっぱいの敬老者

※宝木地区の七十五歳以上の高齢者数を五年前と比較すると表のように約四割増となります。

自治会	平成17年	平成22年
1 - 1	53	81
1 - 2	140	186
1 - 3	70	81
2 - 1	102	137
2 - 2	106	185
宝木団地	92	105
西中丸	187	267
東中丸	104	141
宝木細谷	39	51
駒生団地	4	9
計	897	1,243

りますが、これからも健康に留意し、心豊かに穏やかに齢を重ねられますようお願いいたします。

(宝木地区社会福祉協議会長 鹿嶋 晋)

備品が充実

「コミュニティ助成事業」

このほど、宝木コミセンでは宝くじの助成を受けた財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により二五〇万円を限度に交付され、まちづくりのための備品を購入しました。

この備品は、宝木地区の地域活動に使用するもので、宝木地域づくり推進協議会を構成する団体に貸し出すこともできます。コミュニティ活動を濃密にそして効果的に展開するために大いに活用してください。

施設・備品	数量
展示用パネル	17枚
プロジェクター	1台
スクリーン	1台
ノートパソコン	1台
インクジェットプリンター	1台
テント	2張
屋外用音響放送機器	1式

全市一斉清掃に汗

雨天で中止になった体育祭の翌週十月十七日(日)に、自治会連合会の呼びかけで全市一斉清掃が行われました。昭和五十五年(一九八〇)栃木国体を契機に開始した全市一斉清掃も三十年を経過しておりますが、毎年五月、十月、十二月の三回実施し、ごみのないきれいな街づくりを目指して



近所同士が和気あいあいのなか心地よい汗を流しました。自治会によつては、年三回以上あるいは毎月実施しているところもあり、近隣の方と緊密なコミュニケーションを図ることにより助け合い精神を高め防犯、防災などその効果は大きいものがあります。今後は十二月十二日(日)に実施予定。

駒生2号児童公園(東中丸)

体育祭中止

本年度の宝木地区体育祭は、十月十日(日)開催を予定してありましたが、前日からあいにくの雨天のため会場の宝木小学校の校庭に大きな水たまりがいくつもでき、グラウンドコンディション不良のため、予備日の翌十一日(祝)も開催不能と判断し、本年度の体育祭は中止としました。

地域あげての祭典を取り止めたことで、楽しみにしていた多くの地区住民や準備にお骨折りいただいた関係の皆様へ深くお詫びいたします。

子育て支援事業

宝木小子どもの家

〇歳から三歳未満の乳幼児とその保護者を対象に宝木小学校校庭の西にある「子どもの家」で子育て支援事業をやっております。これは子どもの遊びと親たちの交流の場を提供することを目的に実施しているもので、平日の午前十時から十二時まで開設しております。ぜひ多くの方のご利用をお待ちしております。

詳しくは「子どもの家」TEL(六二七)二五八八へお問い合わせください。

安全安心パトロール

「環境点検活動」

宝木地区。何代も前からこの地に住み続けられている方。また、最近この地に引っ越し

されてきた方。多くの方々が住まわれています。そして皆さん思うことは自分の住んでいる所が安全で安心して暮らしたいということではないでしょうか？

そのため、宝木地域づくり推進協議会では、毎年、皆で楽しめる「体育祭」や人々のふれあいを大切にする「宝木まつり」、いざという時のための「防災訓練」など様々な行事を行っています。

今回はその事業の一つ「環境点検活動」についてご紹介いたします。

毎年七月は国の「青少年の非行問題に取り組む強調月間」であることに加え、宇都宮市としても「全市民的に防犯活動に取り組む期間」と位置づけ「市民総ぐるみの活動」とな

ることを目指し環境点検活動を行っています。

その目的は青少年の非行防止と健全育成に努めるとともに、防犯の観点から危険箇所等の情報の共有化や改善による犯罪の予防や抑止、さらには地域におけるコミュニケーションの促進を図り、安全で安心して暮らせる地域づくりにあります。

そこで宝木地区は七月七日(水)午後七時から二時間、数グループに分かれ詳細にわたり点検しました。

宝木地区の防犯ネットワーク組織や学校・PTA関係者、育成会を始め諸団体が参加して地域全体が一体となり実施しました。(二十二年度は宝木地区として六十九名の皆様にご参加いただきました。宇都宮市としては二十二年度二、二四名の参加者でした。)

具体的には、皆さんが協力して、チェックリストにより

巡回し、犯罪の起こり易い場所や危険または有害箇所、交通安全上の危険箇所、たまり場、公園及び河川の管理等をチェックします。

さらには環境点検マップを作成し、地域全体の問題箇所等の位置と概要を把握し、自分たちで改善できることと市など行政へ要望するものに振り分けます。そして、自分たちでできることは自分たちで地域全体のこととは地域全体で取り組み改善していきます。ここで大切なことは住民自身が住んでいる地域のルールを守り、身の周りの環境に常に注意し問題意識を持つことです。

同時に、子どもたちへ「愛の一言」運動として、大人たち一人ひとりが地域社会の子どもたちに目を向け、温かい言葉で「いつでも君たちを見守っているんだよ」のメッセージを発し続けます。ぜひ、皆さんも「だれにでも、だれもがかけよう愛のメッセージ」をモットーに、子どもたちが加害者にも被害者にもならないよう見守

つて頂きたいと思えます。

今後とも、宝木地区が私たちにとて住み良い地域でありますよう宝木地域づくり推進協議会を中心に活動して参ります。

もし、防犯灯やゴミステーション等身近な困りごとがありましたらお住まいの自治会にご相談いただきたいと思います。

これからもご理解、ご協力よろしく願っています。
(宝木地区育成会長 堀江 功)

編集後記

四月にオープンした新コミセンも半年を経過し、すっかり地域になじんできました。特に一階奥のコミュニケーションホールは、どなたでも予約なしで自由にテレビを見たり談笑するなどくつろげる空間です。ぜひ多くの方々にご利用いただき、コミセンのより良い活用方法などのご意見をお寄せくださるようお願いいたします。
(文責 北條)